



施設隣接型小中一貫校

# 諏訪市立上諏訪小学校

## 豊かな心を育み 未来を創る子ども

- 自分の考えを持ち 一人でできる子ども
- 仲間を大切にし みんなでできる子ども
- 上諏訪中学校の生徒から学び 地域から学ぶ子ども



### 全校で育てよう 花いっぱい活動

「一人一人の心の花」 「地域の人に届ける花」 「全校にあふれる笑顔の花」

「わくわくする心」を原動力にし  
「感動のある学び」を展開します。

「ありがとうの心」を相手に示し  
「感謝の気持ち」を育てます。

「あこがれの心」を原点にし  
「人と関わる活動」を充実させます。

- 1 日々の授業改善
  - ・学年会・連学年会の充実
  - ・わくわくアート
  - ・タブレットの活用

#### 2 「僕たち私たちの学級」を実感する 追究的学習

- ・生き物に触れて
- ・仲間と協力して
- ・地域、そして世界と関わって



- 3 家庭学習の見直し
  - ・9年間の連続した学び
  - ・読書を生活の一部に

- 1 地域に広がるあいさつ
  - ・児童会・校友会・二葉高
- 2 地域遠足・探検・発信
  - ・すわっこ学習の日
  - ・学区や地域に学ぶ活動

#### 3 友との学び合い

- ・歌でつながる
- 4 清掃活動
- 5 ボランティア活動
  - ・諏訪湖清掃、スイセン植樹
  - ・ニッコウキスゲ



- 1 児童生徒の仲間作り
  - ・児童会等、縦割りの活動
  - ・児童会・校友会共催の活動
  - ・児童会：いじめ撲滅宣言
- 2 行事や地域との関わり
  - ・学校行事・地域行事への参画
  - ・地域講師との学びの場
  - ・開校記念講演会
- 3 キャリアパスポート
  - ・自分の成長を感じるふりかえり活動



○相手意識に立ったものづくり科

○すわっこ学習（ふるさと学習）

## 小中一貫教育の重点

- 1～5年生を「基礎的な体験活動を通して、基礎学力の定着や活用と個々の興味・関心や個性を伸ばす5年間」と考え「学級担任制（2年ごとの学級編成替え）」を実施します。
- 6年生は「小学校の最高学年」であり、リーダーとして活躍するとともに「学びの充実、伸長、発展期」のスタートと考えます。
- 教科担任制《中学校校舎における学習》  
中学校教員：算数・外国語活動・家庭科 小学校教員：理科・音楽・体育 等
- 授業研究・カリキュラムの実践と見直し  
・合同職員会 ・合同研究会



## 学び合う職員集団

- 児童一人一人に寄り添った関わり
  - ・相談週間（担任が児童一人一人と話す時間） ・教育相談 ・児童の丁寧な引き継ぎ ・高学年サポートチーム（高学年教科担任制を生かし、個別支援の充実を図る） ・インクルーシブ教育へつながるUD研修 ・あゆみの時間の個性化
- 子どもの姿から学ぶ
  - ・授業記録の研究、チームによる教材研究 ・公開研究会 ・教育課程研究協議会
- タブレットを生かした授業開発



### R4.4.6 学校だより NO1 より

梅のつぼみがほころび始め、鶯の鳴き声から春が来たことを感じる季節となりました。依然として、新型コロナウイルスの感染は続いています。感染予防を徹底しつつ、子どもたちが主役の学校づくりに今年も取り組んで参ります。1年間、どうぞよろしくお願ひします。

上諏訪中学校との小中一貫教育を今年度も推進していきます。昨年度実施した学校評価アンケートから示唆されたこととして、小中一貫教育の具体的な取組を、保護者のみなさんにより伝わるようにしたい、という願ひがあります。2年目を迎える今年度、発信を大切にしていきたいと考えています。



# 校歌「うたおう！いのちを」

ニタやけの湖は  
今日の日を映して  
あたたかな街の灯は  
あしたへのともしび  
ここで今 出会う生きる  
創ろう！  
つなごう！  
みんな！  
大きな夢だよ  
はるか広く  
ここがふるさと  
うたおう！いのちを

一山なみと青い空  
今日もゆく坂道  
いにしへの杜やしる  
あたらしい街なみ  
ここに立ち  
歩く走る  
集まれ！  
あそぼう！  
みんな！  
大空翔(と)ぼうよ  
はるか高く  
ここがふるさと  
この地球(ほし)がふるさと



作詞・作曲者 唐沢史比古 先生



## 児童数(令和4年4月現在) 全校 345名

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1部	32 (2)	23 (4)	29 (1)	25 (2)	19 (7)	26 (2)
2部	32 (1)	26 (2)	28 (2)	25 (2)	23 (4)	26 (2)
合計	64 (3)	49 (6)	57 (3)	50 (4)	42 (11)	52 (4)

※ ( ) の特別支援学級児童数は外数

## 上諏訪小を支えてくださる皆様

### 地域とともにある学校づくり「上諏訪コミュニティ」

本部	委員長：宮野 孝樹 副委員長：石城 正志・小濱 健一・小松 滋 コーディネーター：入江 公子・今井 みどり・白鳥 保美(学校)				(以下 敬称略)
	読書活動支援 「かじの葉」 〈グループ長〉 土田 千春 小口奈緒美 〈活動計画〉 ・読み聞かせ ・読書旬間中のお話会	学習支援 「ちょこサポ」 〈グループ長〉 丸山しのぶ 〈活動計画〉 ・学級への学習支援 ・ものづくり支援	地域つながり支 「わくわく上諏訪サロン」 〈グループ長〉 柳澤 修 大野 曜子 〈活動計画〉 ・地域とのつながりを大切 にした体験講座を企画	安全支援 「きよろぶら運動」 〈グループ長〉 両角 博行 長谷川哲也 〈活動計画〉 ・登下校中の子どもたちの 安全を見守る	環境支援 「上諏訪親父衆」 〈グループ長〉 小澤 哲夫 宮坂 晃 〈活動計画〉 ・施設の整備支援 ・イベントへの協力
事務局 事務局長：PTA 会長 広報・庶務：PTA 副会長 会計：教頭 会計監査：前年度 PTA 会計			アドバイザー 上諏訪中コーディネーター、北澤区(学校所在地の)区長、学識経験者 社会教育委員、消防団長、教育委員会及び校長が適当と認める者		

## PTA 役員のみなさん 「すべては子供たちの笑顔のためにーそして、私たちの笑顔のためにー」

	委員長		副委員長	
会長	藤森 伝太			
副会長	矢本 英昭	溝口 綾	学級 PTA 両角 真樹	柿澤 沙織
会計書記	齊藤 文子		学校づくり 石澤 啓介	河西 稔
会計監事	小口 信行	小林 真紀	教 養 續木 甚一	清水 由紀
			広 報 小平 紀子	小林明日香
			地区校外生活指導 木村加奈子	荻村 愛
				望月 利江



## 上諏訪小同窓会役員のみなさん

会長	山田 勝文		幹事	増澤 義治	長谷川哲也	上條 弘義
副会長	山崎 義夫	丸山しのぶ		茅野 喜仁	小濱 健一	高橋 由紀
幹事	飯坂 正樹		柳澤 修	藤森 敬子		
	古屋 了	矢島 新吾	河西 進	渡邊 弘光	高木義一朗	

# 令和4年度城南小学校の教育

## 学校教育目標

### ともそだち

#### 学校の姿

- 児童の姿
  - ・素直で課題にまじめに取り組むことができる。
  - ・体験的な活動に意欲的に取り組んでいる。
  - ・より一層友との関わりを大切にしていくな姿を期待したい。
- 地域・保護者の方々の様子
  - ・地域・保護者ともに協力的である。
  - ・地域素材を生かした探究的な学びを評価し、支えてくれている。
  - ・責任感を持って自分の役割を果たしたり、思いやりをもってかかわっていく姿を更に期待している。

## 具体目標(願う子どもの姿)

ともに笑顔で学び合い  
 ともに受け止め、認め合い  
 ともに未来を見据えて創る 子ども



#### 全校研究テーマ

「できた・わかった・ひろげよう」  
 が生まれる授業づくり

～学びの系統性・連続性～

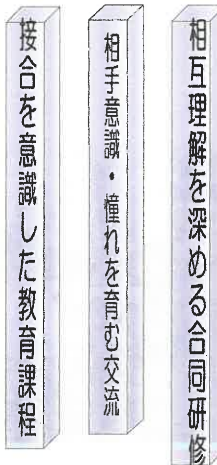
#### 合い言葉

SSS (スリーエス)「笑・しょう・SHOW」

### ともに笑顔で学び合う 城南「笑」学校

- 城南スタンダードの構築
  - ・基礎基本の確実な定着を目指した学習のUD化
  - ・伝え合い、思考力・自己表現力を高める授業の実践
  - ・ふりかえりの場から生まれる学びの積み上げ
  - ・継続して着実に学力を伸ばす、モジュール学習
- 教科担任制による授業の質の向上
- 地域に学ぶ探究的な「すわっこ学習」、  
 相手意識に立つ「ものづくり科」の充実
- 「すわっこ学習」「道徳」「国語」「算数」を中心とした  
 積極的な研修の場（タブレットの活用）  
 講師を招聘した職員研究会の設定

### 小中一貫教育へ に向けた重点活動



### ともに受け止め、認め合う 城南「しょう」学校

- 分かりやすく安心できる環境づくり（城南UD）
- 様々な経験を積むことから生まれる自己肯定感  
 安心して自分を発信できるペア学習、グループ学習  
 受け入れてもらえる経験の積み重ね
- 自分との意見・立場の違いを理解する柔軟性  
 縦割りともペア活動・探究的な「すわっこ学習」  
 道徳教育の充実・自他を大切にする人権感覚
- ルールや約束を大切にする学校生活
- いじめ・不登校の未然防止  
 きめ細かく迅速な、チームでの対応

### 諏訪市の重点 未来創造「あい」プラン

- 「学びあい」プラン
  - ①学びのイノベーション
  - ②ふるさと学習の実施
  - ③諏訪版キャリア教育・ものづくり教育・算数数学教育・科学教育の充実
- 「認め合い」プラン
  - 1) 不登校減と未然防止
  - ②いじめ未然防止
- 「支え合い」プラン
  - 1) 早期からの相談、支援体制の整備
  - 2) ノーマライゼーションの考え方による特別支援教育の充実
- 3つの重点活動
  - 読書活動、読書会活動
  - 地域と一体となった防災教育、安全教育
  - 人権、平和教育の充実

#### 城南小PTA活動

### ともに未来を見据えて創る 城南「SHOW」学校

- 地域に生きる自分を自覚し、地域に学ぶことで自己有用感を育む  
 「自分は、役に立っている」「周りから評価されている」という思いをもち、次の行動につなげる
- ソサエティ5.0の時代を生き抜く資質・能力の育成  
 知識・技能の習得  
 思考力・判断力・表現力の伸長  
 主体的に学習に取り組む態度の育成

#### 小・中の連携 幼保小の連携

### 長野県の重点

- 「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり
1. 未来を切り拓く学力の育成
  2. 信州を支える人材の育成
  3. 豊かな心と健やかな体の育成
  4. 地域との連携・協働による安全・安心・信頼の環境づくり
  5. すべての子どもの学びを保障する支援
  6. 学びの成果が生きる生涯学習の振興
  7. 潤いと感動をもたらす文化とスポーツの振興

#### 人に学び ふるさとに学ぶ 信州型コミュニティスクール

- ◎城南ふれあい講座の実施 ◎城南ふれあいタイムの実施
- ・学習ボランティア・ふれあい農園ボランティア・城南クラブ・ICT教育
- ・読み聞かせボランティア・安全ボランティア・環境支援ボランティア等

学校評価 (CS 運営委員・保護者・職員・児童) 授業参観日 (授業の見どころ) 授業評価 (児童) 学校生活アンケート・ともそだち相談

## 日課の変更 ～継続して着実に学力を伸ばすモジュール学習の実施～

・金曜日を、全校5時間授業とする。(下校 15:00)⇒金曜日に児童支援のための会議や、授業力向上のための職員研修を設定することができるようになった。

・金曜日の6時間目にあたる時間を、月・水・金曜日の朝15分×3日分で補填する。(モジュール学習)  
⇒モジュール学習では、漢字やローマ字など繰り返し学習することに向いている内容を扱うなど、研究中。

## 5・6年生「教科担任制」の実施

<実施形態>

- ①各学年ごと、学級担任が以下の教科を分担して、全学級指導  
○国語 ○算数 ○体育と外国語
- ②理科と音楽は専科が指導
- ③それ以外の教科は学級担任が指導



5年生教科担任制国語の様子

## 小中一貫教育に向けて



諏訪中生徒の読み聞かせ



諏訪中学校生徒会との連携(Teamsを利用)

諏訪中生徒会3役と  
城南小児童会3役で意見交流  
今年度も定期的  
行っていく予定

## 信州型コミュニティスクール

5月から始まった「あいさつ運動」  
あいさつの輪が城南小に広がるように、  
今後も続きます。

## タブレット・ICT 機器の活用



元気よくあいさつを  
チラシ配りや声かけで  
城南小で活動始まる

「元気なあいさつがで  
きる子どもを育てよう  
と、城南小学校の「コ  
ミュニティスクール運  
営委員会が、「あいさ  
つ運動」を始めた。毎  
月第2水曜日の朝に、  
学校昇降口前で登校し  
てくる児童にチラシを  
配ったり、声をかけ  
たり、あいさつの大切  
さを伝えていく。」

城南小のコミュニティスクール運営委員会が始めた「あいさつ運動」

(市民新聞グループ提供)

○総合的な活動の時間での活用(5月23日)  
6年2部「JONAN SDGs PROJECT」  
⇒NPO 団体「Colorbath」協力を依頼し、マラ  
ウイの小学生とweb 交流を行った。

## 令和4年度 四賀小学校グランドデザイン

### 校長の願い

#### 「めざせアンパンマン」

愛と勇気をもつ子：あたたかな学校  
ふるさとの人・もの・ことを大切にし、夢やあこがれを持ち、学び合い成長し合える学校

### 児童の様子

- 素直で元気な子ども
- 前向きに学習に取り組むが、書くことを課題とする子が少なくない
- 様々な個性、特性、家庭環境に生きる子ども

### <学校教育目標>

志高く  
大きな心で  
人のために

### 諏訪市の学校教育 未来創造「あい」プラン ～3プラン～

- 「学び合い」プラン
- 「認めあい」プラン
- 「支えあい」プラン

### ～3重点～

- ①読書活動・読書会活動
- ②地域一帯の防災・安全教育
- ③人権・平和教育の充実

### 学校を取り巻く環境と地域

- 1 霧ヶ峰に端を発する上川清流沿いに広がる自然豊かな地域・崩落危険区域に指定される急傾斜地
- 2 古墳時代の遺跡や桑原城址、頼重院、甲州・鎌倉街道沿いの歴史文化の豊かな地域とインター周辺に開けた商業地域・住宅地域の住民とが共存する地域
- 3 「地域で子どもたちを育てよう」という気風に富む地域、協力的な保護者。

～連携し、安全と安心の輪づくりが重要な地域～

### 重点取組 『みがく』

- 1 知恵をみがく
- 2 心をみがく
- 3 体をみがく

#### 知恵をみがく

#### 体をみがく

### 知識・技能

- 学ぶ集団づくり（学級づくり）
  - ・学習ルールの確立と思いやる仲間作り
- 学びの基礎を支える活動の充実
  - ・業間ドリルの着実な運用
  - ・MIMを使った読みの指導
  - ・朝読書の確実な運用
- 振り返りの充実
  - ・自分の言葉で書く時間と習慣の定着

- 歯・口を中心とした健康教育
  - ・地域・保護者と連携した日常指導
- 行事や学校の取組みとリンクした食育
- 生涯にわたり運動に親しむ資質の育成
- 安全に生活できる実践力の向上

### 思考力・判断力・表現力等

- ・総合を軸としたカリキュラムマネジメント
- ・重点研究（社会・学力向上・ICT）
- ・職員研修（非違行為防止研修・授業研究）
- 総合を中心にした探究
  - ・問題解決的思考の育成
- すわっこ学習の充実・ものづくり科の充実
  - ・総合とリンクした取り組み
- キャリア教育
  - ・ふるさとの人・もの・ことに生き方を学ぶ

- ・学年担任制、教科担任制の試行
- ・ICTを生かした授業研究
- ・外国語・プログラミング教育の研究

- 勤労生産活動・中核活動
  - ・田畑、神戸山を利用した年間を通した探究的な、また体験的な学習
- 気づき清掃
  - ・自分の心に問いかける気づき清掃

### 心をみがく 学びに向かう人間性

- 人権教育・道徳教育・防災教育・交流教育
  - ・命、生き方、人間性を育む全教育活動の基盤としての教育

#### 特別支援教育

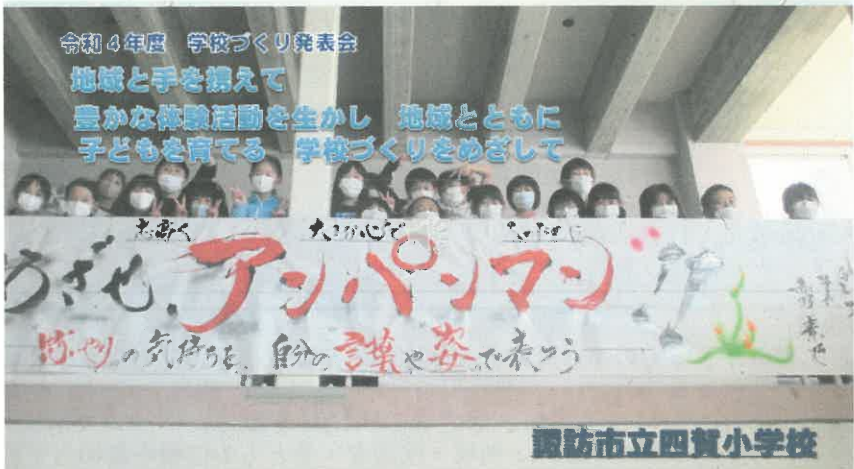
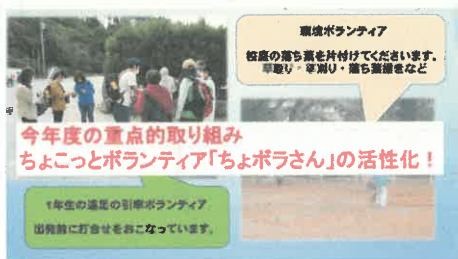
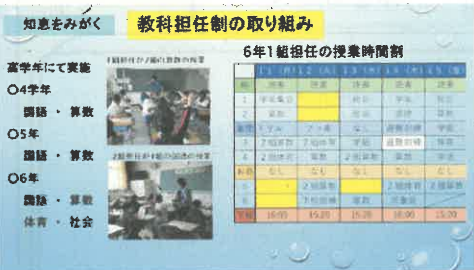
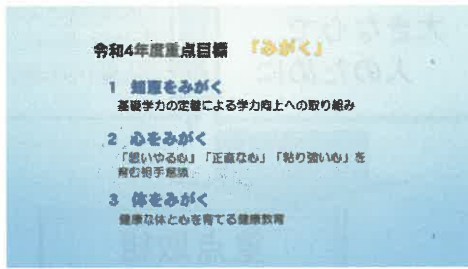
- ・生活単元、自立活動の充実
- ・インクルーシブ教育への志向

#### 信州型コミュニティスクール

- ・地域と手を携え、地域の子どもの地域と育てる学校。「ちょボラ」の活性化

### 職員の決意

- (1)子ども理解：子どもの小さな変化や知性の萌芽に気づき、その尊さを大切に喜びとする教師。
- (2)いじめの兆候を見逃さない・不登校児童は増やさない：職員一同が、一人ひとりの児童に目を配り児童の兆候を把握するとともに、子ども、保護者の声に耳を傾け、チームで解決に導くよう努める。
- (3)非違行為は絶対に起こさない：地域・保護者・子どもの信頼を裏切らず、子どもと真摯に向き合う職員。





# 令和4年度 諏訪市立豊田小学校グランドデザイン

諏訪市の教育理念  
未来創造「あいプラン」  
ともに学び ともに育つ  
未来につなげる

【学校教育目標】  
よく学び よく遊び 心身ともに健やかな子ども



## めざす子どもの姿

自分の考えを持ち学びに没頭する子ども 共に学び合い高め合う子ども あきらめずやり遂げる子ども

希望や夢をもち未来を切り拓いていく力 つながり「笑顔」が広がる学校

魅力ある学び  
～「生きる力」につながる  
確かな学力～

- ◇「やってみたい」「考えたい」を原動力に 問題解決の力をつける
- ◇身につけた力の実感・活用
- ◇生活科・総合的な学習の時間の充実 身につけた力の活用 教科等横断的な指導
- ◇こつこつタイム（学びの土台づくり）
- ◇授業とつながる家庭学習
- ◇学び合い・高め合い
  - ・ペア・グループ学習
  - ・コミュニケーション力・表現力・対話力の向上
- ◇個に寄り添った適切な学びの場
  - ・多層指導モデルMIMの活用
  - ・個の学びを支えるユニバーサルデザイン化
- ◇ICTの効果的な活用

かかわりの中で発揮される  
気づき・発見・豊かな感性

- ◇ふるさと学習・交流・西山三校・地域のひと・もの・ことに触れる・かかわる学び  
触れる 感じる 考える  
働きかける よさの再発見
- ◇創り上げる特別活動  
発想力・企画力 相手意識  
誰かのために 役に立つ喜び

心・身体との対話

- ◇困難にも負けないたくましく  
健康な心と身体
  - ・健康的な生活習慣の定着
  - ・健康教育・食育の推進
- ◇自ら生み出し創造する生活・活動
  - ・体力向上（マラソン・駅伝等）
- 達成感・自信、次への意欲

＜心を育てる三本柱＞  
〇心がつながるあいさつ 〇心を磨く清掃 〇心を鍛えるマラソン

自分も他も大切にできる 豊かな心と思いやり

- ◇異年齢活動
  - ・つながる楽しさ・難しさ
  - ・学び・気配り  
つながる みとめる 受け入れる
- ◇相手意識に立ったものづくり科  
キャリア教育
- ◇自分と向き合い心を豊かにする  
読書・読み聞かせ・本を読む

- ◇いのちの教育
  - ・防災・安全教育  
「自分の命は自分で守る」
- ◇心を磨く道徳・人権教育
  - ・人権旬間
  - ・自他の尊重  
「認め合い」「支え合い」  
「感謝」

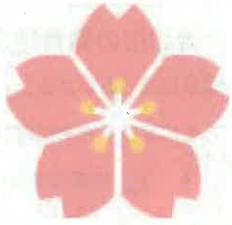
安全・安心な学校

非遵行為防止 いじめを見過ごさない・許さない 人権感覚 整った学校施設・生活環境

地域とともに歩む学校～おらが学校・子どもは地域の宝～

チーム豊田・保護者との連携・協働

学習支援 クラブ支援 とよだっ子未来探検隊 さくらの会 花とみどりの会 子ども見守り隊



# 学校だより さくらの学校

諏訪市立豊田小学校 No.10

令和4年2月25日

## 校内ものづくり展

諏訪には、「ものづくり科」という全国の中でも珍しい学習があります。「ものづくり科」のねらいは、ものづくりの技術を高めることのみにとどまりません。正式名を「相手意識に立つものづくり科」だとお知らせすれば、この学習のねらいが分かりやすくなるかもしれません。

### <ものづくり科のねらい>

- × ものづくりを活用しながら、子ども達が相手（使う人・おくる人）への思いをもとに、知識を活用する力をものづくりの実体験を通して身につける。またものづくり科を通して、ものづくりや働くことの意義・おもしろさを理解し、将来、社会で生かすことのできる内容を身につける。
- × 相手に思いを寄せたり、ものづくり学習を支援してくださる方々に感謝の気持ちをもったりすることで、豊かな心情を培うとともに、社会で働く意義や地域産業を担おうとする意欲を醸成する。

上記のような学習のねらいをもち、国語や算数等と同じように計画的に6年間の学習に取り組んでいます。コロナ禍でなければ10月の「工業メッセ」、12月の「チャレンジショップ」、1月の「諏訪実高発表会」への参加などを通して地域の皆さんに発信する場があるのですが、残念なことに本年度は新型コロナウイルスの感染警戒レベルが高く、参加することができませんでした。しかし、先日開催された「ものづくり校内作品展」では全校児童の作品が校内に展示され、子どもたち同士がお互いの作品を見合うことができました。



1年生  
ありがとうを伝える「写真たて」づくり



2年生  
家族におくる「ペン立て」をつくらう



3年生  
家族のことを考えて作った「箸」



4年生  
家族への思いを込めて  
作った木のスプーン



5年生  
キャンプで作った思い出の木工工作



6年生  
自分たちで育てたお蚕様の  
繭で卒業式のコサージュづくり

作ったものを贈る相手は、お世話になった6年生だったり、日々感謝している家族だったり、学年によって異なります。しかし、相手を思う様々な取組の工夫がされている点は同じです。相手の好みに合うように好きな色や形をあらかじめインタビューしたり、少しでも相手が使いやすくなるように形を工夫したりしながら、相手意識に立つものづくりに取り組んできました。まずは自分のものを作ってしてから、贈る相手のことを考えて2つ目の作品に取り組んだ学年もありました。そして、これらの作品を全校で見合いましたが、感想を交換し合った学年もありました。また、ものづくりに取り組むにあたり、学校ボランティアの方々に指導していただいた学年もあり、感謝をお伝えすることができました。このように「ものづくり科」は、常に相手意識に寄り添った学習となっています。諏訪が誇る自慢の学習です。



# 学校づくり発表会資料

諏訪市立中洲小学校

## 1 「いのちの教育」を通して学校教育目標の具体化を

中洲小学校の学校教育目標は、「たくましく心温かな中洲の子」です。「たくましく」には自ら課題に取り組み自らの力で解決していく粘り強い姿が、「心温かな」には相手意識に立って行動し支え合い共に伸びようとする共生の姿、そして、「中洲の子」には地域の自然に思いを寄せ、地域の人々と関わり中洲の一員として生きることを喜びとする郷土愛の姿が表現されています。目標に込められたこれらの思いや願いを具体化していくためには、①子どもの生命を守り②豊かな感性と生きるための基礎力を育み③ひとり一人が輝きそれぞれの伸びる芽や可能性が発揮される教育活動を通して自己肯定感を育んでいく営みが必要であると考えます。このように取り組んでいる教育を「いのちの教育」と位置づけて実践をすすめています。自他の生命や真理に自ら触れたり体験したりして、自らを輝かせていく学びの場を重視して豊かな感性と確かな学力を育む教育課程をより一層工夫していきたいと考えます。子どもの学びの道筋に沿って、思考力、判断力、表現力、探究力、情報発信力などを相互に磨きあっていく中で相手を想い自他を大切にする心情を育む知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成していきます。

## 2 三つの柱による「いのちの教育」の実践

中洲小学校では、「いのちの教育」の実践に向けた教育活動に次の三つの柱をすすめています。

【自分づくり】<自分が好き>自己を知り自己肯定感を育みながら自らの力を高めていく活動

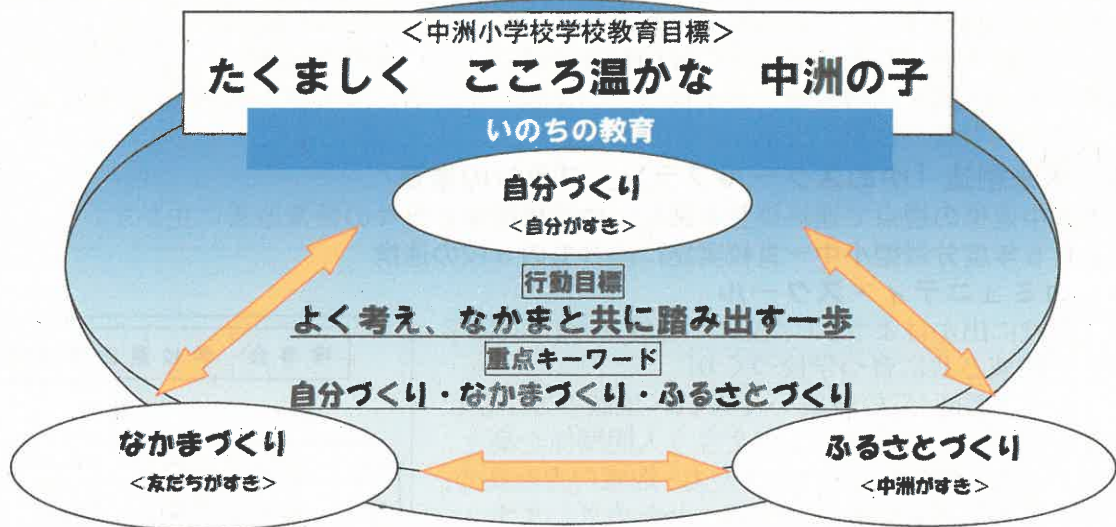
【なかまづくり】<友だちが好き>共に高め合う集団での活動

【ふるさとづくり】<中洲が好き>地域の人と自然との触れあいを通してふるさとへの思いを育む活動

これら柱をもとに、学校教育目標具体化に向けた活動を企画・構想・実践していきます。

## 3 「いのちの教育」実践の内容

### (1) 学校教育目標と教育活動との関連



### (2) 重点キーワード 自分づくり・なかまづくり・ふるさとづくり

学校教育目標実現のための柱を「じぶんづくり」「なかまづくり」「ふるさとづくり」とし、児童の行動目標を「よく考え、なかまと共に踏み出す一歩」として「いのちの教育」の実践をすすめていきます。

自分づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意なことだけでなく苦手なこともあることを知り、そういう所も含めた「自分」の良さを見つけていくことができる。</li> <li>めあてを持って取り組むことでがんばる自分を好きになる。自信をつけていく。～振り返りを大切に～</li> </ul>
なかまづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちのいいところをたくさん見つけ、良さを認め合うことができる。</li> <li>中洲タイムや行事を通して、協力し合う体験を積みともに取り組む良さ、協力して作り上げる喜び、達成感を味わう。</li> </ul>
ふるさとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>中洲の良いところをたくさん見つけることができる。</li> <li>地域の人に学び、地域を知ることで中洲の素晴らしさを知る。</li> <li>地域の方との関わりから学びをひろげる機会を持つ。</li> </ul>

#### 4 諏訪市未来創造「あい」プランの推進

##### (1)「学び合い」プラン（学力向上・体力向上）

- ①主体的・対話的で深い学びの追究、道徳科の充実、英語外国語活動の充実。
- ②2学期制の良さを生かし、通知表を年2回として児童相談や保護者懇談の機会をとり、児童と向き合う時間をとる。継続的な評価を実施することで学力向上を図る。
- ③「いのちの教育」
  - ・理科学習とその他の教科・領域で「いのちの教育」の視点で研究をすすめる。
  - すわっこ学習を推進する。総合的な学習の時間のみならず、地域素材の開発をすすめる。
  - 相手意識に立ったものづくり科を核としたものづくり教育の充実
  - ・一時間の授業の中に自己の高まりを自覚できる「振り返りの時間」を確保し、自分を振り返る「書く時間」をとって表現することで学力向上を図る。
  - ・授業とのつながりを重視した「読書算タイム」「家庭学習」「クリアチャレンジ問題」
- ④体力向上に向けた日々の体育的活動を充実させる。
  - ・大縄跳びやマラソンへの継続的な取り組み・児童会や姉妹学級での交流の推進

##### (2)「認め合い」プラン（不登校減・いじめ未然防止）

- ①「あいさつ」を中心におくことでいじめや不登校を未然に防ぐ布石とする。
- ②「中洲小さいじめゼロ宣言」等を活用した生活の見直し・児童会や校長講話等で取り上げる。
- ③不登校未然防止・不登校傾向児童への日々の対応。
- ④教育相談等の相談窓口の周知(保健室・校長室・職員室等)と実践。
- ⑤いじめ体罰アンケートの実施とその後の児童相談及び外部組織カウンセリング等の活用。
- ⑥連絡帳や電話でのやりとりを想定した児童と保護者への対応指導及び研修の実施。

##### (3)「支えあい」プラン（発達支援の連携推進・特別支援教育の充実）

- ①認め褒められ安心できる学級づくりとインクルーシブの教育の実践の充実
- ②関係機関や自立生活支援員、原級担任等と連携して、特別支援学級の支援の充実を図る。
- ③通常学級で過ごしている児童・保護者へ、日々の取り組みや個々の育ちをもとに、より適切な指導のあり方や適正就学等の相談を呼びかけて理解を図る。
- ④係・保育園・幼稚園等と外部機関との連携をすすめて来入児の実態把握に努める。
- ⑤副学籍制度の拡充、交流学习の推進

#### 5 未来創造「ゆめスクールプラン」プランの推進

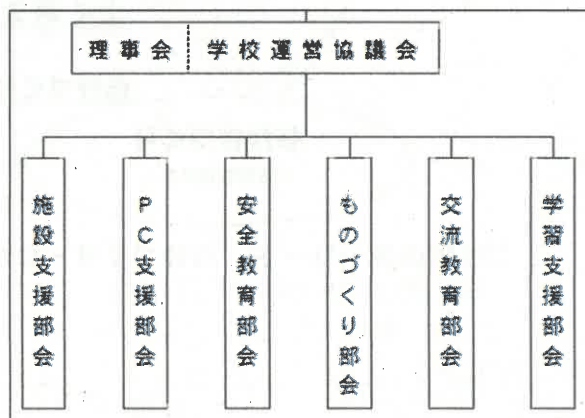
- ①小中連携の視点で連絡調整を図り、中学校進学と日々の授業改善に生かす。
- ②R5年度分離型小中一貫校実施に向けての3校の連携。

#### 6 コミュニティ・スクール

「学校に出かけよう」「学校に手を貸そう」「共に学ぼう」**地域と共に育つ学校づくり**

子ども・教師(学校職員)・PTA・地域の方が学校運営協議会の活動を通して支え合う人間関係を築き、子どもの力・教師の力・PTAの力・地域の力を高め、より充実して教育活動ができることをめざします。

- ① 学習支援部会：・ミシン学習で安全な使用の支援・ローマ字の学習支援・書写学習の支援・理科の学習支援・地域学習講師
- ② ものづくり部会：「中洲クラブ」と呼ばれ、PTAや地域の方々のご協力をいただきながら運営されている子どもたちのための農業体験クラブ。  
「異年齢集団での活動」「自然や中洲の特徴を生かした活動」「地域の方々と共にやる活動」を柱とし、人や自然との交流・活動を通して子どもたちの豊かな学びを育むことをねらいとしている。
- ③ 交流部会：「6年生と1年生が交流して行うカリンの活動」の支援など
- ④ 施設支援部会：「ふれあい農園」や「校庭土俵」の整備など
- ⑤ PC支援部会：PCを使ってプログラムの基本となる論理的思考(アルゴリズム)の学習支援など
- ⑥ 安全教育部会：毎日の登下校の安全見守り活動(キョロブラ活動)をはじめ「防犯教室」「避難訓練」や「交通安全教室」などの安全指導に関わっての献身的なサポート



# 令和4年度 湖南小学校グランドデザイン

## 学校教育目標「湖南で学び、未来を創る子ども」

### めざす子どもの姿

### 励む子

- ① 自分の力で課題に立ち向かう湖南の子
- ② 相手を認め大切にできる湖南の子
- ③ ふるさとを知り誇りに思う湖南の子

### 本校児童の良さと課題

- 良さ
  - ・素直で、明るい
  - ・みんなと協力することができる
  - ・任された仕事を責任もって行える
- 課題
  - ・自分の考えや気持ちを言葉で伝えるのが苦手

### 諏訪市未来創造「あい」プラン

- (1) 学びあいプラン ①学びの改革 ②ふるさと学習の実践 ③ものづくり教育を通じた相手意識と理科振興
- (2) 認め合いプラン ①不登校の減少と未然防止 ②いじめの未然防止
- (3) 支え合いプラン ①早期からの相談 支援体制の整備 修復的対話 MIMの活用 ②ノーマライゼーションの考え方による特別支援教育の充実

### 重点1 自ら学ぶ

#### わかる授業づくり

- ・高学年を中心に教科担任制の導入
- ・授業がよくなる3観点の充実(「ねらい」「めりはり」「見とどけ」にそった授業改善を行なう)
- ・教材研究の工夫(教材研究に力を入れ、児童にとってわかる授業、楽しい授業を目指す)

#### 授業のユニバーサルデザイン化

- ・どの児童もわかる、できる授業の工夫(1時間の授業の流れがわかるように掲示する。日付、授業のねらい、まとめを黒板に明記する)

#### 授業の約束づくり

- ・湖南小学校の授業の約束の作成(1年生から8年生まで、共通した湖南小学校の授業の約束をつくり共有する)

### 重点2 ともに学ぶ

#### あいさつができる湖南小

- ・相手を認めること(人権教育)の基本としてのあいさつ
- ・児童会によるあいさつ運動
- ・おとな(教師、親、地域)からあいさつ

#### 伝え合う力・対人関係力の育成

- ・ペア学習やグループ学習
- ・対人関係ゲームやエンカウンター
- ・ソーシャルスキルトレーニング(SST)

#### 特別支援教育の充実

- ・インクルーシブ教育
- ・多様性を認める学校
- ・学びの場の見直し

#### 安心して学べる学校

- ・担任だけでなく学年・チームで育てる
- ・QUの活用
- ・いじめ未然防止、早期発見・早期対応
- ・不登校の未然防止

### 重点3 地域に学ぶ

#### ふるさと学習の充実

- ・湖南地区の森林組合の協力を得て、森の機能を知る(水源涵養・土砂災害防止樹木の種類)・森づくり・山林管理の体験森で遊ぶ。

#### 地域の方から学ぶ

- ・湖南の伝説やいわれ、身近な神社や石仏などを訪ねたり、お話を聞いたりして、ふるさと湖南の良さを感じる。

#### 防災教育

- ・地域と進める防災・減災訓練を貴重な体験の場と位置づけ、防災教育を進める。過去に被災した場所を実際に訪れ、体験者からお話を聞く。

#### キャリア教育

- ・相手意識に立つものづくり科の学習をキャリア教育の場と位置づける。

#### 【学力向上策】

- I 授業改善…①授業がよくなる3観点を大切に授業改善(「本時のねらい」と「本時のまとめ」を黒板に明記)  
②授業のUD化(授業の流れをホワイトボードに書き掲示)  
③主体的対話的な学び(ペア学習・グループ学習を積極的に取り入れる)
- II 検証方法…全国学力学習調査や客観テストによる検証、課題の分析と改善策の実施
- III 指導力向上…①信州型UDを使った研修(子ども目線に立った振り返り) ②指導者を招いて学ぶ(指導主事などの指導者を招き指導を頂いて授業力を高める)

#### 地域との連携

- ・地域の各区と協力して行う防災減災訓練(日曜日登校)(区長会・消防団等との連携)
- ・公民館、博物館、美術館等との連携

#### 湖南小学校 CS 学校運営委員会

- ・あいさつ活動、美化活動の実施
- ・学校支援部(花まるこなみ、おはなしポプラ、キョロプラ、田んぼボランティア、登山ボランティア等)

## 学校教育目標

「湖南で学び、未来を創る子ども」を目指して

《本校のよさと課題》

### 【よさ】

- ・素直で、明るい
- ・みんなで協力することができる
- ・任された仕事を責任もって行える

### 【課題】

- ・自分の考えや気持ちを言葉で伝えるのが苦手
- ・学習意欲や学力に差がある

## (1) 自ら学ぶ姿

- ・わかる授業づくり
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・授業の約束づくり

どの子ども意欲的に授業に参加し、自ら学ぼうとする気持ちが、確かな学力につながると考えます。具体的な取組としては、日々の教材研究の工夫や授業のユニバーサルデザイン化、授業の約束づくりなど、

子どもたちにとって、見通しがもちやすくわかりやすい授業、楽しい授業の実践に向けた取組をしていきます。どの子ども自分の力を十分発揮できる教育、インクルーシブな教育

とも大きく関わっています。



## (2) ともに学ぶ姿

- ・あいさつができる湖南小
- ・特別支援教育の充実
- ・対人関係の育成



自分の考えや気持ちを伝えるには、安心して共に学び合える学校であってほしいと考えます。まず、日常的にできる挨拶は、相手を認める一歩になります。児童会・教職員とCS運営委員、はなまるこなみさん、PTAの皆さんも加わっての朝のあいさつ運動も行っています。また、対人関係力の育成として、社会性やコミュニケーション力のスキルアップのためのソーシャルスキルトレーニングを毎週1時間、設定して行っています。特別支援教育や人権教育、いじめ、不登校対策にも関わっています。

## (3) 地域に学ぶ姿

- ・ふるさと学習の充実
- ・地域から学ぶ

学校を支え、応援してくださる方々との連携や、関係強化を図る「信州型コミュニティスクール」「ふるさと学習」と関係します。地域の様々な方々とのふ

れあいや共に活動する体験を通して、地域の魅力に触れ、郷土を大事にする心やふるさとにほこりを持つことにもつながります。また、CS運営委員会の皆さんを始め、はなまるこなみさんやキョロブラさんなど学校支援部の皆さんとの関わりから、助けていただいているありがたさ、感謝の気持ちを持つことの大切さを学ぶこともできています。



# 令和4年度 上諏訪中学校グランドデザイン

校訓 真理の追求 自主自律 質実剛健

学校教育目標  
自らを拓き、未来を生きる

目指す学校像

自治の気風にあふれ、生徒が判断し、行動する機会が多い学校  
高い人権意識のもと、自分や他者を尊重しながら協働して取り組める学校

目指す姿  
上中プライド  
のもと

【生徒】  
言語や情報、技能を使いこなす  
感情をコントロールする  
目標に向かい専心して取り組む  
他者を尊重した主張ができる

【教師】  
授業が根幹と考え、道一筋に研鑽する  
豊かな発想で、創意工夫する  
生徒の目線に立ち、率先垂範する  
保護者、地域の方とともに汗を流す

## 上中 学びのプロジェクト

生徒・教職員合言葉  
(校友会スローガン) 協働 (きょうどう)

### 自律した学び

#### 取組1 日々の授業改善

- ①生徒が学習の目的をもち、理解したことや伸びを実感できる学びのある授業
- ②タブレット端末を活用した個別・協働学習
- ③小中をつなぐ「ジョイント・カリキュラム」の修正・開発

#### 取組2 自主学习への支援

- ①毎日の「プランニングタイム」によるPDCAサイクルの学び方の習得
- ②理解を確かにする授業とリンクした課題(家庭学習)の継続

#### 取組3 諏訪学の一層の充実

- ①諏訪をフィールドに探究する「手長丘プロジェクト」(総合的な学習の時間)
- ②諏訪湖や霧が峰など諏訪の自然、文化、歴史などと結びつけた学び(各教科等)

### 社会と結びついた学び

#### 取組1 キャリア教育の充実

- ①本物に触れる上中キャリアメッセージなどにより、ロールモデルとの出会いを支援
- ②「相手意識に立つものづくり科」では、「人のために」を据えた展開によりキャリアデザイン構築を支援

#### 取組2 校友会活動への支援

- ①生徒が主体的に活動を企画・運営できるような協力体制、支援の充実
- ②諏訪湖清掃、ニッコウキスゲ植栽活動などを通じた、地域への貢献

#### <本年度の重点活動>

- ・地域貢献
- ・交流活動
- ・みんなの文化祭

### 個別最適な学び

#### 取組1 サポート体制の充実

- ①学級の枠を越え、多くの教員が生徒をサポート・ケアする学年担任制(全学年)
- ②すべての教室における特別支援と「心の支援会議」を中核とした情報共有
- ③各種アンケートや生活記録、保健室、カウンセラーの利用など、生徒個々の悩みに即応できる相談体制

#### 取組2 学び方に合わせた支援

- ①個別の課題に合わせるAI教材(Qubena)を導入(3学年)
- ②自分のペースで学べる校内フリースクール(相談F)を開設

#### 取組3 上中アフタースクール

- ①部活動とともに、生徒の興味関心を広げる「上中サークル」
- ②放課後の学習支援の場として「自主学习ルーム(S-class)」をテスト前などに開設

### 【上中コミュニティ】

学校運営委員会

### 上中応援団

読み聞かせの会 PTA 同窓会 地域住民など

### 【人権意識の高揚】

- ・生徒憲章
- ・道徳の授業の充実

評価指標

工夫して自学に取り組んでいる(70%以上) 相談しやすい先生がいる(80%以上)  
いじめに起因する不登校生徒(ゼロ) 地域のためにできる活動を考えている(70%以上)

＜校訓＞ 真理の追求 自主自律 質実剛健  
 ＜学校教育目標＞ 自らを拓き 未来を生きる

1 令和3年度のアンケート結果より（抜粋）

・学校で学習したことがわかっている	87%（保護者）	97%（生徒）
・工夫して自主学習に取り組んでいる	78%（保護者）	92%（生徒）
・地域のためにできる活動を考えている	75%（保護者）	73%（保護者）
・相談しやすい先生がいる	83%（保護者）	84%（生徒）

昨年度の学校評価アンケートの結果、上記のようになった。結果をもとに、成果や課題を精査し、今年以下のように学校経営の重点を策定した。

2 令和4年度の学校経営の重点とその具体的内容

＜目指す学校像＞

- 自治の気風にあふれ、生徒が判断し行動する機会が多い学校
- 高い人権意識のもと、自分や他者を尊重しながら協働して取り組める学校

＜目指す姿＞ 上中プライドのもと

- 生徒 … 言語や情報、技能を使いこなす感情をコントロールする目標に向かい専心して取り組む他者を尊重した主張ができる
- 教師 … 授業が根幹と考え、道一筋に研鑽する豊かな発想で創意工夫する生徒の目線に立ち、率先垂範する。保護者、地域の方とともに汗を流す

【令和4年度の重点】

(1) 自律した学びで力をつける授業

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
  - ア 授業の5原則
  - イ 小中学校ジョイントカリキュラム（授業実践）
  - ウ 毎日のプランニングタイム
  - エ 家庭学習
  - オ 教科・教育相談
  - カ ICT活用
- ② 探究的な学び
  - ア 諏訪学
  - イ 「手長丘プロジェクト」（総合的な学習の時間）
- ③ 学習評価



プランニングタイム

(2) キャリア発達を促す自治活動

- ① 学級活動
  - ア 係活動
  - イ 目的をもった校外活動
  - ウ 進路学習
  - エ 食や健康に関する学習
- ② 学校・学年行事
  - ア 音楽会
  - イ 自然体験学習・諏訪工業メッセ（1年）
  - ウ 八ヶ岳登山・上中キャリアメッセ（2年）
  - エ 修学旅行（3年）
- ③ 校友会活動
  - ア 諏訪湖清掃
  - イ ニッコウキスゲ植栽
  - ウ 子ども食堂ボランティア
  - エ 上諏訪小と連携した行事（読み聞かせ、合同校友会、運動会、音楽会）
- ④ 上中アフタースクール
  - ア 部活動
  - イ 上中サークル



キャリアメッセ



小中合同避難訓練



小学生への読み聞かせ

(3) 多様性を包み込む相談（サポート、ケア）体制

- ① 学年担任制（全学年）
- ⑤ 相談F（Free、Friendly）教室



子ども食堂ボランティア

# 令和4年度 諏訪市立諏訪中学校 グランドデザイン

## 教育の方針

### 学校長の願い

### 生徒主体の学校づくり

～学校・地域・社会の担い手の育成～

#### 【具体的な経営方針】

- ① **生徒と共に在る教師**
  - ・生徒と教師のあたたかみをつなぐ
  - ・可能性の芽を伸ばす伴走者
  - ・生徒に委ねる活動の設定
- ② **教師の持ち味を活かした質の高い授業づくり**
  - ・教科の核となる単元の決めだし
  - ・若手職員による学びのフロンティアの発信
  - ・諏訪学を中心に探究的な学びと発信
- ③ **教職のプロとして多様性への理解と支援**
  - ・スクリーニング会議と継続的支援会議実施
  - ・サポートルームの開設と運営
  - ・生徒理解に基づいた合理的配慮、UD

### 学校教育目標

明るく、元気で、たのしい 人間性豊かな生徒の育成

## めざす生徒の姿

### 共感

相手意識を持ち関心を寄せる

**違いを受け入れ相手を尊重**

### 思考力・判断力

粘り強い追究・深い学び

**必要な学びを自ら選択**

### 主体性

自ら考え、表現する

**自己決定**

ともに手を携えて創る  
諏訪市の学校教育

### 未来創造「あい」プラン

「認めあい」プラン  
(安全・安心な学校づくり)

「支えあい」プラン  
(特別支援教育の充実)

「学びあい」プラン  
(学力向上・体力向上)

### 地域とのつながり

- ・諏訪中OSの活動  
(学習支援・環境・読み聞かせ)
- ・地域へ積極的に関わりの発信
- ・気持ちのよいあいさつ
- ・地域貢献活動
- ・HP、学校によりによる情報発信
- ・小中連携での活動

## 人間関係づくり

### 教師と生徒のあたたかみづくり

- ・生徒と共に事をなし、その子の可能性や良さを見取り引き出す
- ・その子の願いに寄り添い、生徒の自立に向けた伴走者となる
- ・一人ひとりの良さが活きる学校づくり

### 誰もが安心できる学校

- ・各学級主催の人間関係づくり集会の実施
- ・一人ひとりが安心できる居場所づくり 見守りを大切に
- ・個に応じた支援会議、個に合ったサポートルームの運営 個別支援計画
- ・誰とでも交わり合う、気持ちのよい挨拶 心のつながりの第一歩

### 多様性への理解

- ・誰もが自分らしさを発揮できるよう、様々な考え方や、多様な個性を受け入れ合う活動
- ・自分の考えを伝え、対話を通してお互いを受け入れ、認め合える活動
- ・個に応じた多様な学びの場、方法の提案と自己選択

## 学びの充実

### 魅力ある授業づくり 深い学び

- ・「取り組みたい」「必要だ」と思える教材や課題・発問の工夫
- ・深い学びにつながる対話活動
- ・ねらいのはっきりした授業
- ・この授業で身につけたこと「活かしたいこと」の振り返り
- ・個々の問いを追究する場面の設定 意見の言語化
- ・\*評価アンケート対話による学びの深まりがある」…70%以上

### 個別最適な学び

- ・ICTを活用して互いの意見を共有 学びの深まりのツールに
- ・A/Let活用やZOOM配信など、個に応じた学びの保障
- ・個々の学びのペースや学び方に応じた「指導の個別化」

### 自ら考え 学ぶ姿

- ・学校：授業と連動した課題学習 自分の興味関心を追究
- ・家庭：自分に必要な内容を自分にあったやり方で進める
- ・\*評価アンケート「自ら見通して学習に取り組めた」…70%以上

## 生徒主体の活動

### 生徒会活動の充実

- ・深高 ～一人ひとりの思いからつくる生徒会～
- ・親交(挨拶) 真考(清掃) 心向(合唱)

### 私たちの誇り

- |                     |                        |                   |
|---------------------|------------------------|-------------------|
| 挨拶<br>相手と心を<br>通わせる | 清掃<br>他者から学び<br>自分を高める | 合唱<br>響け<br>全校の思い |
|---------------------|------------------------|-------------------|

### 地域を元気に

- ・令和5年度「施設分離型小中一貫校」開始  
皆で考える「地域貢献活動」小中で連携した活動

## 生徒主体の学校づくり

### 1 生徒会活動の充実 深高 (しんこう)

～ 一人ひとりの想いからつくる生徒会 ～

#### (1) 心向 (しんこう) 心を響き合わせ想いを伝える合唱



朝、夕の校舎に響くクラス合唱。自主

的に中庭に集い、交わすマスク越しの歌声。姉妹学級で重ねる交流。

歌うために表情と体をほぐし、歌詞の意味を知り、口形を学ぶ。コロナ禍でも工夫して続ける音楽集会。



#### (2) 真考 (しんこう) 他者から学び自分と向き合う清掃

日々の清掃振り返りを通し、自ら学ぶ。先輩から後輩へ姿で伝える清掃の姿。清掃から学ぶ自学清掃。縦割り清掃の実施、他者の清掃から学ぶ「気づき清掃」。

#### (3) 親交 (しんこう) 相手と心を通わせる挨拶



自主的に玄関 に並び、登校する仲間へ

かける言葉。挨拶は心のつながりの第一歩。

#### (4) シェアプレイス

全校規模で意見を取り入れるシェアプレイ

ス。委員会規模、個人規模で何ができるか考え取り組む「○○ウイーク」。人間関

係の基礎、クラス規模で何気ない疑問や課題について意見交換をする「響け 全校の想い」。形や集団をかえて一人ひとりの考えを伝え合う (シェア) 活動。



#### (5) 校内にあふれる掲示物の工夫 あたたかなつながりとメッセージ

ホールにかけられた大きな生徒会月目標

制服の決まりクイズ出題「生活向上週間」。毎

日更新、温かな言葉あふれる生徒会黒板メッ

セージ。





## 諏訪西中学校

学校づくり発表会

諏訪西中学校の教育の目的=最上位の教育目標

社会の中で、  
私もみんなも  
「幸せ」になる

社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる

そのために

諏訪西中でつけたい力  
本校が目指す9つの生徒像

- ①自らできる
- ②見通しをもって計画的に行動する
- ③自他を価値ある存在として認める
- ④色々な人の立場で考える
- ⑤感情をコントロールすることができる
- ⑥善悪を踏まえ建設的に主張、行動する
- ⑦信頼できる情報や知識を集め、使いこなす
- ⑧意見の対立や理解の相違を解決する
- ⑨コミュニケーションを大切にし、他と協働する

9つの力 昨年度を振り返ると・・・

- それぞれの力について、70%以上の生徒が伸びたと感じた。

90%以上の生徒が伸びたと感じた力

- ④色々な人の立場で考える力
- ⑨コミュニケーションを大切にし、他と協働する力

鳳祭で目指した  
③自他を価値ある存在として認める

伸びを感じた生徒 87%



1/4の生徒が伸びなかったと感じた力

- ②見通しをもって計画的に行動する力
- ⑧意見の対立や理解の相違を解決する力

最も伸びたと感じた生徒が、4%以下だった力

- ⑥善悪を踏まえ建設的に主張、行動する力
- ⑧意見の対立や理解の相違を解決する力

全体として

- その場その場での人との関わりが増え、力をつけてきている。
- じっくりと関わり、じっくりつける力は伸びを自覚しにくい。

そこで今年は・・・

力をつける重点

他者意識

「相手意識に立つものづくり科」



他者意識の感じられる授業  
「発表」「説明」場面がある授業の構築

- 説明するための計画
- 論理的な思考
- 論理的な思考を支える根拠
- 根拠を支える資料、経験、知識、概念

「交流学习」学校外の人との触れ合い

- 高齢者施設訪問（停止中）
- 乳幼児との触れ合い（停止中）
- ふるさと学習
- 地域密着型ものづくり講座



他者意識の感じられる授業  
授業の工夫 小中での取り組みも

- 4人組で自分の考えを伝え合う時間※
- 板書形式の共通化※



昨年に引き続き

困難を抱えている生徒が「幸せ」を求められるように 他者意識に寄りそって

- 登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように
- 学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように
- 友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 外部機関との連携
- 支援会議の充実
- 人権教育、道徳の充実
- 校内中間教室
- 教室以外での授業学習の試み
- 家庭への授業配信テスト
- タブレットの授業配信



登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように

他者と  
関わりながら → 「幸せ」を感じる  
生活の充実

学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 認知機能トレーニング
- 授業形態の工夫※
- 板書形式の共通化※
- 個別支援の充実



学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように

わかった、  
これならできそう、 → 「幸せ」を感じる  
他者と関わる意欲へ

友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 場面 場面で他の人の立場で考える教育
- 道徳や人権教育で気持ちのよい関係づくりに触れる
- 相手意識に立つものづくり科

友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

気持ちよい反応が  
返ってきたら → 他者から  
「幸せ」を感じる。

校外、地域の力をおかりして  
社会(地域)の中で、  
私もみんな(地域の皆様)も  
「幸せ」になる

西山の子どもたちへの  
地域の方々の思いをお伝えください。

## R4 諏訪南中学校グランドデザイン

### 《 諏訪市の教育理念と方針 》

ともに学び、ともに育つ、未来につながるまちづくり

#### 学校の使命

- ・生徒が日々自己更新できる場所
- ・生徒の生きる意欲や学びでの課題意識を引き出せる場所
- ・心身ともに安心・安全な場所
- ・生徒がたつくなった時頼ることができる場所

#### 保護者・地域の願い

- ・学校は行きたい場所であってほしい
- ・学力と体力を身につけてほしい
- ・生徒の良さを発信してほしい。
- ・いじめがないようにしてほしい

### 《 学校教育目標 》

- 「感謝」 自分を支えてくれる全ての人やものごとに「ありがとうございます」と素直に思う生徒
- 「協調」 友のよさに学び、互いに高め合う生徒
- 「創造」 自分のよさや可能性を引き出し、どんな場面でもそれらを活用しようとする生徒  
～夢 叶うまで挑戦～

### < 3つの重点目標 >

#### 伝え合う力を育む学校

「人・もの・こと」との関わりを深め、自己のあり方を見つめる生徒の育成

#### 重点指導1

##### 《人間関係づくり》

- ・教師と生徒、生徒同士の信頼関係を築く（挨拶や言葉）
- ・共に活動する時間「わくわくタイム」の充実。
- ・人間関係検査結果を学級経営や教科指導に反映。
- ・命や心身の健康の大切さを自覚できる保健（健康）教育。
- ・豊かな食生活と感謝の気持ちを育てる食育。

数値目標：生徒アンケート「学校は楽しい」の項目を80%以上に。

#### 重点指導2

##### 《学力向上への取り組み》

- ・主体的な学習にするために、追究の見通しを持たせる。
- ・授業で関わり合う必然性をつくり、学び合う場を設ける。
- ・授業や単元の終末で、学んだことが自覚できるよう、評価を工夫する。
- ・各種学力調査の結果を授業改善に生かし、小・中9年間の系統的な学びの研究を行う。

(R5 施設分離型一貫教育)

数値目標：生徒アンケート「授業はわかりやすいですか」の項目を80%以上に。

#### 重点指導3

##### 《生徒指導体制の充実》

- ・「生徒へ寄り添う」をもとに情報共有やチームによる支援
- ・「連携」による不登校対応。適応支援COと生徒指導主事を中核に支援。
- ・校内中間教室運営の充実。
- ・「相談の時間」での問題予防的な対応。

数値目標：生徒アンケート「先生は悩みの相談にのってくれる」の項目を80%以上に。

### 重点活動《 凡事継続…日々の学びを継続できる生徒 》

※平凡なことが実は難しい。継続することも難しい。

- 「挨拶」すべての生徒・職員の明るい挨拶を通して、人とのつながりの大切さを育む。
- 「清掃」身支度、無言、気づきを意識することを通して、心の弱さを乗り越え自己と向き合う。
- 「読書」朝の読書、ボランティアの方々による読み聞かせ活動や「読書会」の推進を通して自己の内面を耕し、自らを見つめる心を育む。
- 「生徒会、学年学級活動への参加」自分と仲間を大切にしながら、自主自立の心を育み、自己実現を図る。

### < 目指したい教師像 >

本立而道生（もとたちてみちしょうず） 物事の根本が確立すれば、自ずと道は開ける

- 生徒のよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師
- 教育に対する情熱と使命感、向上意欲をもつ教師
- 生徒に寄り添い、生徒の声を聴き取り、思いを受け止め、生徒と共に歩む教師
- 組織人として責任感と協調性を有し、互いに高め合う教師
- 服務規律の厳守・綱紀肅正に努め、教職公務員としての重責を認識し校務に臨む教師

総合的な学習の時間「ゆめかなタイム」  
単元名：「あなたに届けたい、諏訪のこと」

2年次、グループで決めた1つのテーマについて調査を重ね、その魅力や工夫、苦勞、厳しさにふれてきた。3年次は、昨年度体を動かして感じたテーマへの思いをもとに、小学生へのプレゼンや市役所・企業へのポスターの提案など、諏訪のためにできることを考え、実践した事例。

培う資質・能力

<p>(1) (知識及び技能) 相手に伝えることを通して、もう一度、諏訪地域のよさや魅力、課題について見つけ直すことができる。</p>	<p>(2) (思考力・判断力・表現力等) 「どのように諏訪の力になるか」についてグループの仲間の思いや考えを共感的に理解しながら、自分の建設的な意見を述べるることができる。</p>	<p>(3) (学びに向かう力) 自分の願いや課題意識に基づいて、プレゼン先を自分で決め、自ら社会に参画しようとする態度をもつことができる。</p>
---	---	--

資質・能力を培うために、大切にしたこと

- (1) 魅力の発信は、「発信してみよう!」という声を聞いて立ち上がるものではなく、本当に自分自身が魅力を感じたときに自然と動き出すもの。伝えたい相手も、生徒が抱えている思いや願いによって変わってくる。伝えたい相手、伝え方は自分たちで決める。
- (2) 成果発表の場は、校内ではなく伝えたい相手のいる校外で行う。

生徒の姿(校外活動)と振り返り



中州小2年生 クイズや劇で諏訪大社をPR



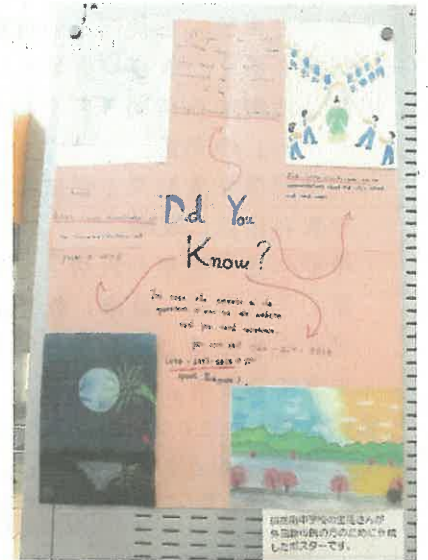
中州小5年生 「諏訪の水ってすごいだよ」



四賀小4年生 諏訪のものづくりの底力!



市役所観光課 こんなパンフレットいかがでしょう?



市役所地域支援係  
外国の方向けのポスター掲示してください

○小学生がクイズで盛り上がってくれて嬉しかった。私たちの発表で片倉館の利用客が増えるわけでもないかもしれないけど、自分たちの中で調べて終わりじゃなくて、わずかな人数だけど小学生に伝えられてよかった。小学生に分かるような言葉に変えたりすることを通して、もう一度調べ直したりして、私たちの勉強にもなった。

○市役所の方にポスターを掲示してもらおうようにお願いしに行った。去年からずっと話を聞かせてもらっている人だったので、しっかり伝えられた。グループで活動してきたので、グループ全員で協力して発表できた。ポスターを市役所の正面玄関に飾ってもらえた。私たちのポスターをみて、外国籍の方が諏訪のことを知ってもらうきっかけになったら嬉しい。